

平成 29 年 5 月 12 日

各 位

東京都新宿区西新宿八丁目 17 番 1 号
株式会社 アドウェイズ
代表取締役 岡村 陽久
(コード番号：2489 東証マザーズ)
問い合わせ先：
管理担当上席執行役員 田中 庸一
電話番号 03(5331)6308

のれんの減損損失（連結決算）並びに連結子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）の計上及び業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期の決算において、下記の通りのれんの減損損失（連結決算）並びに連結子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）を計上するとともに、平成 29 年 2 月 3 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. のれんの減損損失（連結決算）

インド共和国にてインターネット広告事業を展開する当社の連結子会社である ADWAYS INNOVATIONS INDIA PVT. LTD.（以下 ADWAYS INDIA 社）において、平成 28 年 6 月に取得したスマートフォン向けポイントアプリ「Pocket Money」の事業業績が、インド共和国内における広告ニーズの急激な変化による売上高の落ち込みや事業運営等の経費増加を受け、当初想定した利益計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行いました。その結果、当該事業の取得時に発生したのれんの回収可能性の検討を実施したところ、のれんの減損損失として 126 百万円を特別損失に計上することとなりました。

2. 連結子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）

上記の特別損失の計上及び今後のポイント事業の業績状況を踏まえ、当社が保有する ADWAYS INDIA 社の株式について回収可能性を検討した結果、関係会社株式評価損として 206 百万円を特別損失に計上することとなりました。

なお、個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 平成29年3月期業績予想値と実績値の差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	42,310	131	123	△457	△11円22銭
実績値 (B)	42,329	315	248	△450	△11円11銭
増減額 (B-A)	19	184	125	6	
増減率 (%)	0.0	141.0	101.8	—	
(ご参考) 前期実績 (28年3月期)	39,613	687	744	145	3円51銭

4. 差異の理由

当連結会計年度（平成29年3月期）の売上高は、国内のインターネット及びスマートフォン関連市場の安定的な成長を背景に業績予想通りの着地となりました。営業利益におきましては、社内の業務体制の強化及び効率化への取り組みを実施し販管費の圧縮ができたため業績予想を184百万円上回ることができました。経常利益におきましては、為替差損62百万円が発生したものの営業利益の増加を受け業績予想を125百万円上回ることができました。しかしながら、上述の通り当社の連結子会社においてのれんの減損損失（連結決算）として126百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、ほぼ業績予想通りの結果となりました。

以 上